

# ICTAの概要と教育活動等について

2008.6.10

社団法人 情報通信設備協会

# ITCAの現況と活動(1/2)

1. 組織と会員数 : 全国10地方本部、862社の会員(主に電気通信工事業)  
(H20年3月末)

2. 従業員数と技術者:別紙資料

3. 主な事業

1)教育活動 : 情報通信に関する施行技術・技能の取得と品質保持の活動

・LAN資格認定制度(全国)

LAN実機認定制度(全国)

・VoIP研修(全国)

・各地方研修—国家資格(工事担任者資格等)、CCNAなどベンダー資格の取得  
研修、新入社員研修、各種講習会、セミナー

2)各種調査研究活動

・NGNに向けたビジネスモデル研究⇒

FMC事業化の具体化

・FMC事業のビジネスモデル提案

「キャリアと提携したMVNO(Mobile Virtual Network Operator)方式によるFMC  
事業」のビジネスモデルを提案し、会員有志によって事業会社を設立し、事業化  
実施

3)情報通信設備の普及啓蒙活動

・展示会開催(関西、東海) ・機関誌発行、web・メルマガ活用の情報提供

# ITCAの現況と活動(2/2)

## 4)ブロードバンド普及活動

・ITCA- IP Phone (FTTH、ADSL、IPネットワーク利用の事業所向けIP電話)

### ・地域ワイヤレス・ブロードバンド推進活動

・BWAを活用した実証試験を受託

- ①総務省本省施策の岡山県「BWA実証実験」に関し中継局設備機材使用及び作業支援で協力
- ②関東総合通信局様から「広帯域移動無線アクセスシステム活用による中山間地域のブロードバンド構築に関する調査」を受託(山梨県甲州市)
- ③北陸総合通信局様から「高速無線LAN技術等を利用した観光情報支援システムに関する調査」を受託(石川県金沢市)
- ④沖縄総合通信事務所「条件不利地域におけるブロードバンド化推進のためのラストワンマイルの技術的条件に関する調査」を受託(沖縄県北部3村)

## 5)工担者問題・工事担任者の社会的地位向上対策(建設業法上の技術者認定要望)

# 別紙資料：従業員数と技術者

・会員企業従業員総数：約339,000名(H19.1現在)

従業員1～10名 (27.2%)

// 11～20名 (23.3%)

// 21～30名 (7.8%)

// 31～50名 (13.6%)

// 51～100名 (7.8%)

// 101以上 (20.4%)

・工事担任者総数：約8,700名(H19.1現在)

# ITCAの教育プログラム

## 新資格体系（新情報ネットワークプランナー）

目的：情報ネットワークプランナーを協会のスキルスタンダードとして、ブランド化し、対外的に広めてゆく

情報ネットワークプランナー  
（LAN設計）

LAN実機認定制度を創設（2007年度実施）

情報ネットワークプランナーマスター  
（設計、施工）

- ・ 現行カリキュラムをベーシックとマスターの2層に再編成
- ・ マスターに実機による施工を追加  
    当面L2、L3スイッチのコンフィグを実機にて行う
- ・ 状況を見ながらカリキュラムを追加してゆく  
    モバイル、セキュリティ、FMC、NGNなど

# 情報ネットワークプランナー(1/3)

- 最新のLAN・WANにおけるネットワークの技術、ネットワークの高速化に対する設計及びセキュリティ対策・ネットワーク運用管理について習得することにより、LAN設計技術を学びます。本コースは、IP系基礎技術習得者やCCNA資格取得希望者に最適
- 資格有効期限：3年
- 認定者数＝約1,600人

# 情報ネットワークプランナー(2/3)

(研修カリキュラム)

1日目

- ・ネットワーク基礎
- ・OSI参照モデル
- ・LAN規格
- ・スイッチング
- ・TCP/IP
- ・IPアドレッシング
- ・サブネッティング
- ・ルーティングアルゴリズム

2日目

- ・VLAN
- ・WAN
- ・OSPF
- ・冗長化
- ・パケットフィルタリング
- ・ルーティング
- ・ルーティング実習
  
- ・受験対策
- ・情報ネットワークプランナー認定試験

※情報ネットワークプランナー合格者には認定証を発行、3年毎の更新研修を実施。

## 情報ネットワークプランナーマスター (設計、施工) : 実機研修

### 1. 目的

デスクトップスイッチとして、幅広く利用されているアライドテレシス製L2、L3スイッチを用い、スイッチの原理および用途を実習にて習得する。

これにより、スイッチを活用したネットワークの基本設計や設置、設定など施工に関わる技術の習得ができる。

### 2. コース概要

- ・2日コース

- ・履修項目

  - スイッチの原理

  - コンフィグレーション L2, L3スイッチ

  - 想定問題(インターネットマンション、VoIPのQoS、冗長化などの例)

- ・使用機器

  - ①設定用PC(1台/人)

  - ②L2、L3スイッチ(各1台/人、または2人)

# 資格認定者数(H15～H19)

	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年
LAN設計(情報ネットワークプランナー)	1421(1502)	98(112)	63(63)	94(106)	80(88)
LAN実機トレーニング (情報ネットワークプランナーマスター)	-	-	-	-	78(91)
VoIP研修	92(99)	101(108)	35(37)	93(101)	(68)
LAN施工技術者	815(869)	-	-	-	-

※( )内は受講者・平成19年は資格試験を行っていない。

## その他研修

CCNA	353	105	73	-	-
MCP	80	36	-	-	-
LINUX	22	13	-	-	-
LAN/イントラネット基礎講座	59	-	-	-	-
工事担任者受験講座	31	-	-	-	-

※ 地方本部独自の研修計画に基づき工事担任者受験対策等の研修も同時に行われている。

# NPO 情報ネットワーク施工Professional :iNIP 資格

- ・認定団体:

特定非営利活動法人(NPO)高度情報通信推進協議会

- ・協力団体:

(社)情報通信設備協会、(社)日本CATV技術協会、全日本電気工事業工業組合連合会、(社)日本電設工業協会、(社)電信電話工事協会 など

- ・内容:ブロードバンド技術全般、光・メタル配線技術、コンサルティング技術の  
広範にわたる実務能力を問う

- ・開始時期:16年度(11月から)

- ・有効期限:3年間

※1. 将来は国家資格(「情報配線施工」技能検定)と連携

2. NPOは技能五輪全国大会新種目「情報ネットワーク施工」予選会を開催

# 工事担任者制度についての要望

## ・工事担任者の役割： 電気通信回線設備の損傷の事前防止措置

工事担任者が端末設備又は自営電気通信設備の接続に係る工事を行い、又は実地に監督することにより、電気通信回線設備の損傷を事前に防止するとともに、人体の保護を確実なものとする。

### 【電気通信事業法】

第七十一条 利用者は、端末設備又は自営電気通信設備を接続するときは、工事担任者資格者証の交付を受けている者(以下「工事担任者」という。)に、当該工事担任者資格者証の種類に応じ、これに係る工事を行わせ、又は実地に監督させなければならない。ただし、総務省令で定める場合は、この限りでない。

2 工事担任者は、その工事の実施又は監督の職務を誠実に行わなければならない。

## ・例外： 技術基準適合認定機器をプラグジャック等で接続する場合

実質上、ユーザが自由に接続することが可能となっている。

## ・課題： 情報漏洩等の防止

無線LAN等のIT機器の普及に伴い、セキュリティの知識の乏しい人も利用するようになってきており、情報漏洩が懸念される。

## ・要望： 工事担任者の活用

情報セキュリティの知識・技術を有し、その向上に努めている工事担任者を活用してセキュリティを確保できるよう検討してほしい。